

FOODEX JAPAN 2006 報告書③

つくる人と、食べる人、そして売る人をつなげる農 s システムのご提案

今回の FOODEX JAPAN 2006 は、農 s に賛同した 18 ヶ所の生産所と、商品出品の協力をいただき、盛況に終えることができました。

■産直農 s 市場とは・・・

産直農 s 市場とは、生産者の方と買い手側の方を直接つなぐ、BtoB サイトです。

今回の FOODEX では、産地の方に直接商品を持ってきていただき、サイトを具現化した形にしました。

食べる人がその食べ物の作った経過、そして作る人の顔が見えるということ、その情報をとれる手法を、手に入れることの重要性に着目しました。それを作っていくのが、農 s 産直市場です。

■FOODEX 来場者のコメント

来場の方々約 800 名の方にアンケートをご記入いただいた集計です。

そのうち安心、安全、無農薬という言葉をご記入になられた方が・・・全体の約 80 %
生産者の顔が見える商品、産地が明確な商品、などのキーワードが現れたのが・・・全体の約 50 %
地域に根付いた商品、差別化できる情報が欲しいとおっしゃったのが・・・全体の約 40 %

コメント例：

安心で、野菜などの本来の味がするものが欲しい
通常の流通に飽きているお客様に新しい商品を提供したい
郷土色豊かな地域の分かる商品
具体的な地域名などがあるとより親しみやすい
食材にこだわった店なので〇〇産米、〇〇ネギとかうたい文句にしたい
生産者・場所が明確になること（トレーサビリティ）
トレーサビリティのしっかりした自然のもの
中国産の野菜がこわい
日本産の美味しい安心野菜が欲しい。
こだわり＝少量しか生産できないような素材
手間ひまを感じるような商品
地域限定商品や期間限定など



多くの方のお声をいただき、そこから導き出すことは、産地や生産者、生産状況の情報が必要な方がいらっしゃることで買ったものがどこで、どのように作られているのか、その当たり前のことを知ること、そして作る人も、食べる人の声を聞いてそれをかなえる努力をしていくこと、この両者の歩み寄りが、食べる人の支持と作る人の励みになるのではないのでしょうか。

食べる人に農業の現場を伝えていくために、ライスアイランドは農 s をご提案いたします。農業の現場情報と、売り人の要望を伝えていくことが、食べる人の安心を作り出していくことが、農 s という取り組みとなりました。